

森町 ため池ハザードマップ

Reservoir Hazard Map of Mori Town

ため池ハザードマップとは？

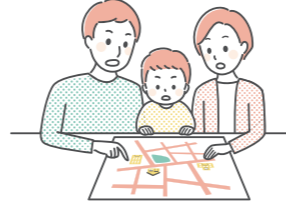
このハザードマップは、大雨などにより万が一「ため池」が決壊した場合の避難行動に役立てるために作成しています。

ため池は、雨が少なく、大きな河川から離れた地域等で、農業用水を確保するために、水を貯めておく人工的な池のことです。大雨時の洪水調整や、火災時の防火用水としての役割もあります。



ハザードマップを使って…

日頃から家族やご近所で避難について話し合っておきましょう。



避難場所までの経路は、事前に確認しましょう。

ため池に異常があった場合には、無理にため池に近づかず、できるだけ早く森町役場にお知らせください。

農林政策課 **0538-85-6315**
つながらない時は 代表 0538-85-2111 へ

ため池はどのようなときに決壊するのでしょうか？

大雨のとき



ため池の水位が上昇し、堤防を越えた水の勢いによって堤防が侵食され、決壊することがあります。流木が洪水吐の断面をふさぐと、堤防を越流しやすくなり、侵食・崩壊の可能性は一層高くなります。

大地震のとき



ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じたり、地盤の液状化により決壊する可能性があります。比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐えきれずに決壊に至ることがあるので注意が必要です。

避難情報に注意！

災害が発生し、または発生する恐れがある場合、災害対策基本法に基づき町から状況に応じて高齢者等避難・避難指示・緊急安全確保の3種の避難情報が発令されます。避難勧告等が発令されたら速やかに避難行動をとる必要があります。なお、突発的な災害では、避難情報の発令が間に合わないこともあります。避難情報が発令されなくても、危険を感じたら避難行動をとってください。大切なことは「自分で判断する」ということです。

森町役場

- 緊急速報メール
- 森町同報無線
- 公式LINE
- 森町ホームページ
- 報道機関（テレビ・ラジオなど）デジタル放送dボタン
- インターネット（「NHK ニュース・防災」等）

積極的に情報収集

聞く

見る

確認

町民の皆さん

大雨のときなど、ここから最新の情報を確認することができます。

静岡地方気象台 Web サイト
<https://www.jma-net.go.jp/shizuoka/>

土砂災害警戒情報（静岡県）
避難情報の応急対応が必要な土砂災害への警戒を呼びかける。
<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/?mp=9004-1>

ため池位置図



- 1 昭和新池（薄場）
- 2 大池（天宮）
- 3 宮ノ谷上池・下池（一宮）
- 4 水戸ヶ谷池（一宮 [大久保]）
- 5 西金谷池（森）
- 6 大沢上池・下池（睦実）
- 7 善正庵池（睦実）
- 8 昭和新池（一宮 [米倉]）
- 9 天ノヶ谷池（飯田）

ため池ハザードマップは、ため池ごとに浸水想定区域を示しています。お住まいの地区に複数の溜池がある場合には、すべてのため池ハザードマップを確認してください。

このため池ハザードマップは、「防災重点農業用ため池」や「貯水量」をもとに選び、作成しています。すべてのため池を表示しているものではありません。

ため池が決壊したときは…

屋外にいたら

ため池毎に設定された浸水想定区域外に避難しましょう！

あわせて、ため池周辺に土石流警戒区域や特別警戒区域などが指定されている場合には、ため池決壊が土石流を引き起こす可能性もあります。土石流から避難する場合には、土砂の流れる方向に対して直角に、できるだけ高いところに避難してください。

屋内にいたら

建物の2階以上に避難しましょう！

逃げ遅れた場合など、むやみに屋外へ移動するとかえって危険な場合もあります。

避難するときは

危険を感じたら、早めに安全な場所に避難することが大切です！

周辺の安全を確認して、落ち着いて避難してください。

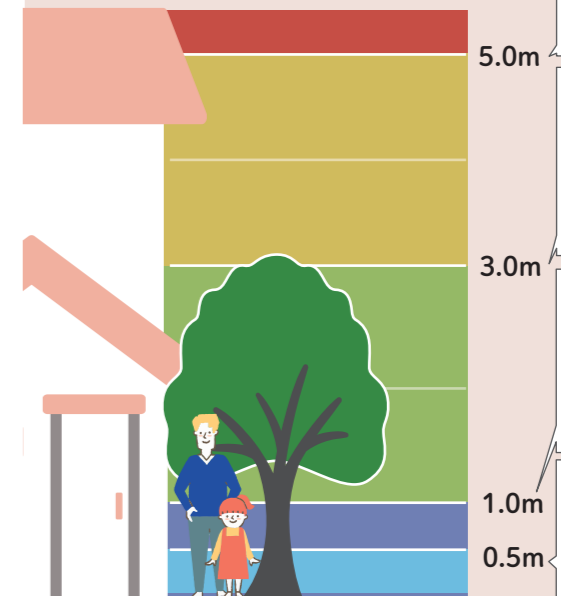
自分の命は自分で守る

状況に応じた行動をとりましょう！



© 1996 MORI TOWN

浸水深の目安



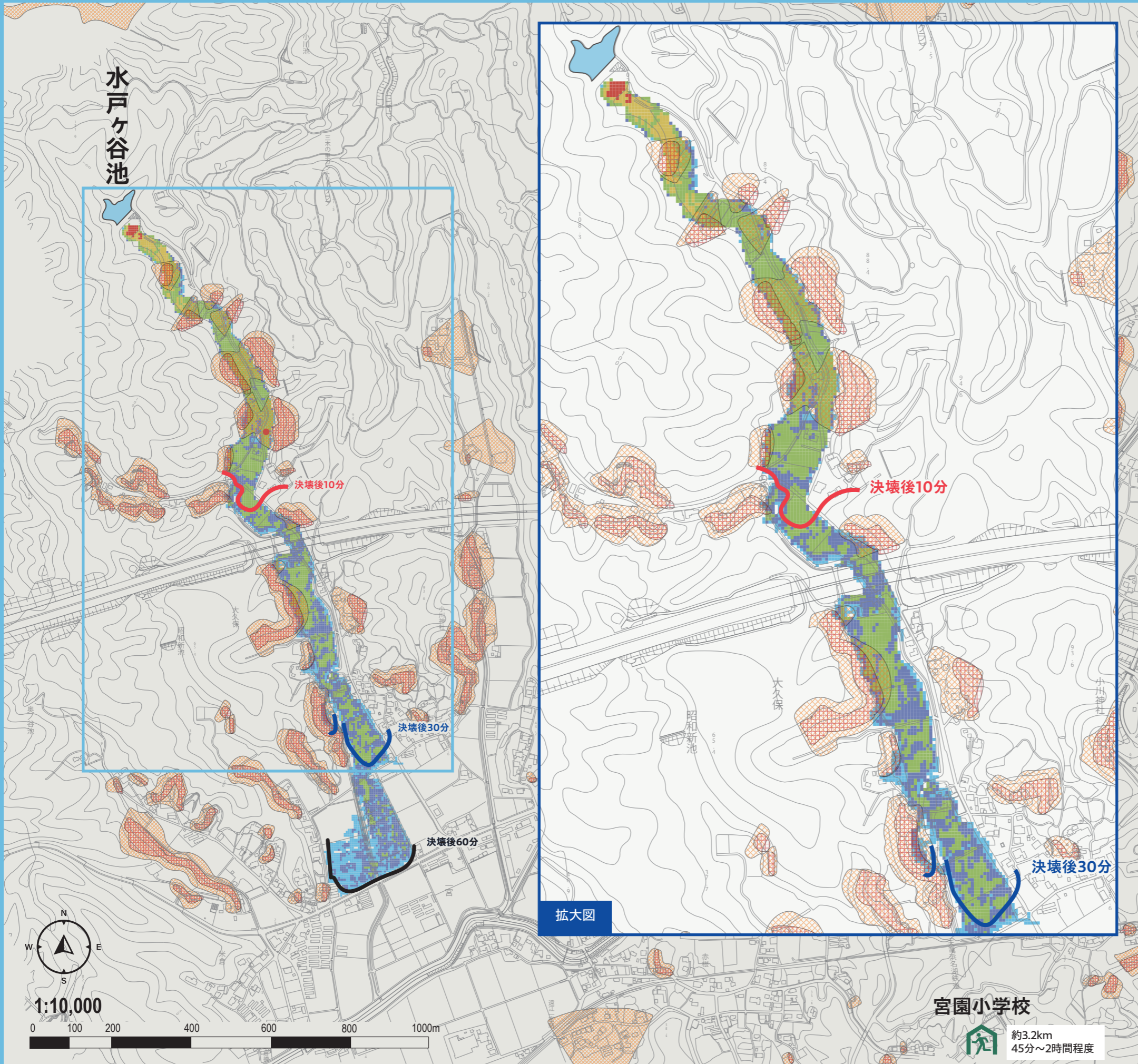
森町役場 農林政策課 電話 0538-85-6315
〒437-0293 静岡県周智郡森町森 2101-1

表示されている区域以外にも、浸水する可能性があります。

森町ため池ハザードマップ 水戸ヶ谷池（一宮〔大久保〕）

令和4年3月作成

このマップは水戸ヶ谷池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、最大水深及び、10分後、30分後、60分後の浸水想定区域を表示しています。



凡例

- 決壊後10分到達ライン
- 決壊後30分到達ライン
- 決壊後60分到達ライン
- 赤色 浸水深5.0m以上の区域
- 黄色 浸水深3.0m以上～5.0m未満の区域
- 緑色 浸水深1.0m以上～3.0m未満の区域
- 青色 浸水深0.5m以上～1.0m未満の区域
- 薄青色 浸水深0.5m未満の区域
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

ハザードマップの作成条件

浸水想定区域は、以下の条件に基づく「はん濫解析シミュレーション」により計算しています。

- ①ため池が満水(※)の時に、大雨や地震などによって、ため池の堤防が瞬時に全壊し、全貯水量が流れ出した場合を想定しています。
(※)満水とは余水吐まで水が満たした状態。
- ②堤防が瞬時に全壊し流出する水は、地形を5mメッシュで表した数値モデルを用いて、その動きや場所ごとの浸水深などを計算しています。浸水深は降雨などの気象条件は考慮していません。

ハザードマップ活用の留意点

浸水想定区域は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。

このため、ハザードマップでは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、災害発生時には状況に応じて命を守る行動をとってください。